

令和元年度 第4回

福山大学 教養講座

1000分の1秒を削る挑戦
～レーシングドライバーの仕事と魅力～

11月19日(火) 10:30～11:50

《 大学会館ホール 》

レーシングドライバー(チームアップガレージ)

講師 小林 崇志先生

皆さんの中には、自動車免許を保有し、車の運転をされる方も多いことと思います。車を運転することは、スポーツでしょうか？恐らく、多くの方々が「スポーツではない」とお答えになることと思います。日頃何気なく目にし、運転している自動車ですが、ある一定の速度を超えると、そこには想像を超えた世界が現れます。モータースポーツと言われる自動車レースでは、時速300キロを超える速度で走ります。高速走行で身体にかかる重力を跳ね返し、集中力を保ちながらレースを走るためには、強靱な肉体と精神、そして反射神経が必要とされます。レースは過酷なスポーツ、そしてレーシングドライバーはアスリートなのです。その想像を超えた世界で戦い、コンマ1秒を削る挑戦をするのが、私たちレーシングドライバーの仕事です。

本講演では、私が参戦する「SUPER GT」の概要から、どのようにしてプロのレーシングドライバーになったのか、また普段はどんなトレーニングをしているのか、レースではメカニックと共にどのような作業を進めるのかななどを、対話形式でお話したいと思います。



【一般の方へ】 聴講を希望される方は公共交通機関をご利用のうえ直接会場にお越しください。